

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼において理念の唱和を行っていたが、新型コロナウイルスの感染予防である3密を回避するため現在は控えている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当該地域における小学校行事への参加やボランティア、児童との交流があったが、現在は新型コロナウイルスへの感染を考慮し直接の交流は控えているが、ボランティアの方々からの絵や花、児童からの手紙や折鶴が届くなど、間接的な形で交流がある。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症サポーター養成講座を開設し、サマーボランティア、認知症見守りメイト、大学看護学科学生等に実習受け入れを行っていたが、現段階においては新型コロナウイルス感染予防のため控えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の生活状況、インシデントについて詳しく報告。その他、サービス提供情報、行事などの報告、様々な課題点について協議しホームの運営、サービス向上に活かしてきた。現在は新型コロナウイルス感染予防のため運営推進委員会は事業所のみで開催し、議事録を委員へ配布、意見をいただくようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	現在は新型コロナウイルス感染予防のため、市の介護相談派遣事業は行っていない。自己・外部評価提出などについては市町村担当者と連携を十分にいき、良好な協力関係を築けるよう取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2か月に1回、身体拘束廃止委員会を開催。議事録の回覧、全体ミーティングでの報告を通じて全職員が情報共有できるようにしている。また年2回、内部研修を実施。日頃のケア内容が身体的、心理的虐待に繋がっていないか等の振り返りを行い、意識の向上だけでなく、知識を深めることができるよう取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	2か月に1回、身体拘束廃止委員会を開催。議事録の回覧、全体ミーティングでの報告を通じて、全職員が情報共有できるようにしている。また、毎月ケア検討会を開催し、日頃のケアが身体的・心理的虐待に該当していないかを確認し、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現段階において、成年後見制度の利用者はいない。内・外部研修において職員は権利擁護が利用者本位であり、利用者の人権を守るための重要な制度であることを理解している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項説明について分かりやすく説明。契約の締結時には利用者と家族に理解し納得して頂けるよう努めている。また、疑問に感じたこと、不安に思っていることを尋ねやすい関係を築き上げるよう配慮し、理解・納得した上で契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	窓口を計画作成担当者が兼任。利用者や家族が遠慮なく意見や要望を伝えることができる関係を築いている。意見や要望が寄せられた時は委員会を取締役や管理者らで開催。議事内容、解決策について第三者が閲覧できるようにしている。各階家族の代表が参加する運営推進会議についてはコロナウイルスへ感染予防のため事業所内での開催となっている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営側と職員の間で定期的に面談。運営に関する職員側の意見を述べることのできる機会を設けている。また、運営側、管理者は職員の意見を検討した上で、それらをより良い運営につなげることが出来るようにしている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の実績や勤務状況を把握した上で、昇給したり資格手当を得ることが出来るなど、職員の意欲・意識向上に繋げている。また、定時の出勤・退勤が出来る職場環境の整備に努め、有給休暇も無理なく取得できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修や内部研修により職員一人ひとりのスキルアップを図っている。2ヶ月毎に行うOJTを活用した内部研修により働きながら知識、技術の向上を目指している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>鹿児島県・市グループホームホーム連絡協議会に加入。協会が主催する研修にリモートで参加。同業者とのネットワークを構築し、密な連携が取れる体勢を整えている。この他、同業者間の交流で得た情報を活かし、より良いサービスの提供に繋げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居決定後、本人の生活歴や性格、利用者の不安や要望などについて家族へアセスメントシートの記入を依頼し、入居後の環境変化にスムーズに馴染めるよう必要な整備等を行い準備している。また家族の不安を和らげるため、入居前よりこまめに連絡を取り、良好な関係を構築出来るよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居決定の段階において家族へ希望する支援などを記す書類を用意し、家族の思いを引き出しながら本人との関係を考慮し良好な関係を築くことに繋げている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービス利用前に、本人、家族と面談し、現段階において必要とされる支援サービスが何かを一緒に検討している。さらに、様々なサービスの情報を提供し、専門的な見地から必要とされている支援についてアドバイスを行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>理念である「ご利用者は人生の大先輩である」を念頭に置き、日々の暮らしの中で長年培ってきた能力を発揮できる環境を作り、利用者を敬うことを忘れず、職員と共に生活できる関係性を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	職員は共に生活する中で利用者が表現できない不安や思いを感じ取り理解することに努め、その内容について家族と共に利用者の望んでいる暮らしについて検討するようにしている。		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	現在はコロナウイルス感染予防のため、現況における感染状況などを考慮した上で、面会は制限している。		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	利用者同士が明るい雰囲気と思いやりを持ち、ともに生活できるように利用者同士のコミュニケーションを見守っている。時に職員が間に入り、利用者同士が心地よい日々を過ごせるように環境づくりに努めている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	医療を必要とする場合、病院への移転を円滑に行える支援している。移動後の経過やグリーフケアについて全職員が把握し、家族の心情に寄り添う支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎月、ケア検討会を開催し、その人らしい暮らしができるよう日々分析・検討を行い、職員間で情報を共有している。日々の生活の会話から本人の思いを汲み取り、利用者本位の支援に繋げている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族に本人のアセスメントシートを記入して頂き、これまでの生活歴や馴染みの暮らしを把握すると共に、サービスの経過情報等を活かし、より良い支援の提供に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの日常の過ごし方や心身状態を個別で記録し、状態変化時は申し送り情報を共有することで、職員全員がより良い支援が出来るよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画は計画作成者だけでなく、チーム全体で作りに上げていくことを全職員が理解している。また、本人・家族が自由に意見が述べられる環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践と結果、気づきや工夫を個別のサービス記録、健康記録に記入し、申し送りやケア検討会で情報共有。介護計画見直しや実践に反映されている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>他科受診、往診等は馴染みのあるかかりつけ医を出来るよう支援している。出張理容に関しては、新型コロナウイルス感染予防策のため、現在は利用を控えている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>以前は地域ボランティアや近隣の小学生、幼稚園児の訪問による交流の場を設けていたが、現在は新型コロナウイルス感染予防の為、直接的な地域との交流は控えている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に、本人や家族の希望する医療機関の情報を把握し、入居後も継続して利用できるよう支援を行っている。また、専門医を受診する際は、適切な医療が受けられるよう、本人と家族の希望を重視した支援に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ホーム内に看護師を配置し、協力医や協力医看護師に日々の情報や気づきを報告・相談することで適切な診療や看護を受ける等、予防や医療の視点での役割が機能している。介護職との連携も円滑に出来ており、十分な健康管理が行えるよう努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入退院時のカンファレンスに参加し、病院関係者との情報共有を行っている。病院関係者に状態を確認し、退院の日取り等について情報収集し早期退院を図り、退院後も早期回復出来るよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期については、入居時に本人や家族に説明を行い同意を得ている。普段より本人や家族から不安に感じている事など相談があった際には、主治医との面談の場を設けており、その内容について情報共有できる体制を整えている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時のマニュアルを作成し掲示。全職員が適切な対応を取れるよう情報共有している。ホーム内のAED取り扱いについては、定期的に専門業者へ研修を委託していたが、現在は新型コロナウイルス感染予防のため、控えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>非常災害時対策マニュアルを作成し掲示。全職員が情報共有できるようにしている。また毎月、各階で火災や地震を想定した日常防災訓練を実施。各利用者の支援方法を記録している。年2回行っていた消防監督の下での訓練はコロナ禍のため控えており、現在は職員のみで自主訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の人格を尊重し尊厳ある生活が守られるよう、またプライバシー保護に配慮した声掛け、支援に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者の反応や仕草を日々観察し、消極的反応がある時などは無理強いせず、ご利用者本人の意志を確認し尊重するように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	コロナ禍で制限されることが増えている中で一人一人の要望に応えられないこともあり、身体的・精神的な負担が増えているものと思われる。スタッフミーティング等で解決策を話し合い、一人一人の要望に少しでも応じられるような支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	御利用者一人ひとりの要望に応じて、身だしなみやおしゃれが出来るよう支援を行っている。尚、コロナ禍のため出張理容は控えているが、職員によるヘアカットを行うなどの対策を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者がこれまで培ってきた料理の技術や知識をスタッフに伝えるなどコミュニケーションの機会を設け、食事の準備段階から楽しめる工夫を行っている。コロナ禍で食事時の会話を制限している環境にあるが、家事と一緒にするという過程が、ご利用者の達成感・充実感を得ることに繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士による、ご利用者の必要栄養量（エネルギー・タンパク質等）に応じた献立作成を行い、食事摂取量・水分量の把握に努めている。また、一人ひとりのADL、習慣に応じた支援を通して健康維持・増進に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛け、案内、口腔内チェックの支援を行うことが習慣化されており、口腔内の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	ご利用者一人ひとりの排泄のパターン、生活習慣を把握し、適切な時間に声掛け・トイレ案内を行っている。本人の残存能力を活かし、自身の力で排泄が出来るという達成感を感じてもらえるような支援に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の健康状態や薬の副作用等を把握し、繊維質を含む食材を取り入れた献立を作成。乳酸飲料の提供も併せて行っている。この他、腹部マッサージをはじめ、日頃からリハビリ体操に取り組むことを習慣化するなど、運動をすることで便秘予防に繋げる等の取り組みを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回、個々の希望を聞き、体調を考慮した上で入浴支援している。入浴を拒む場合は無理強いせず、状況に於いては清拭などで対応。個々の状態や希望に応じた支援を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	スタッフ間で情報共有し、睡眠状況に応じて休息の声掛けを行っている。それぞれの生活リズムに合わせたナイトケアを行い、適切な寝具を使用。室温管理に努め、安楽に休めるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬についていつでも確認できるよう、薬剤師との連携が図れており、薬剤情報は健康記録へ綴じている。服薬は本人へ手渡し、飲み込むまでを確認。看護師との連携を行い、状態の変化に対応できる環境を整えている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の出来ることや得意なことをアセスメントし支援することで生活の中で張り合いや喜びを感じられる様に努めている。また、コロナ禍において外出を控えているため、レクリエーションを実施し気分転換が出来る環境を整えている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	気分転換のためにも本人や家族の希望を尊重し外出支援を実施していたが、現在はコロナ禍にあるため、不要不急の外出は自粛している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>コロナ禍のため利用者の希望に応じてスタッフが買い物代行を行っている。買い物によって生じた経費については本人や家族に報告している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>現在、コロナ禍のため外出や面会は制限している。ホーム用のタブレットや電話での通話をはじめ、LINEを利用して写真や動画を家族へ送信するなど、家族交流が出来るように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間に季節の花を飾ったり、花を模した貼り絵を展示したり、生活の中で四季を感じながら居心地の良い生活が送れるように工夫している。利用者にとって不快な刺激がない環境作りに努めている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングにソファを設置することで他者と歓談できるスペースを作り、一人になりたい時は自由に居室へ帰って過ごすことが出来るよう支援する。プライバシーを尊重した環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室に本人の馴染みのある家具や仏壇、家族写真等を配置。利用者にとって居心地の良い暮らしが送れるように工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの個別性に応じて家具の配置や杖、車椅子置き場などに配慮。浴室やトイレの場所も分かりやすく表示している。また、各居室の入り口には表札を掛け、自分の部屋の場所が分かりやすいように工夫している。利用者が安心して出来るだけ自立した生活を送れるよう工夫している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない